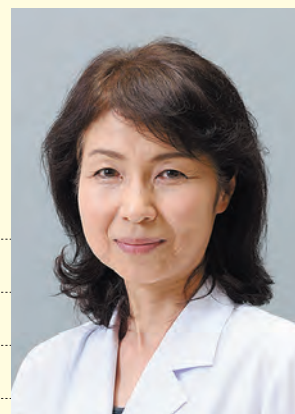




サインポスト遺伝子検査

健康管理科 齋藤 真実



新型コロナウイルスの終息にはまだまだ時間がかかりそうです。コロナ禍で私たちの生活スタイルも変化しています。外出の機会が減り運動不足になりがちです。

サインポスト遺伝子検査で生活習慣病に関する遺伝子リスクを調べることができます。人が有する約30億の塩基対の配列は個人により異なる部分があり、この違いが体質などの個人差を生み出すといわれています。1つの塩基が別の塩基に置き換わっているものをSNP;スニップ (single nucleotide polymorphism) といい、SNPを調べることで肥満や高血圧、糖尿病などの遺伝的リスクを知ることができます。同じ食事や運動を行っていても保有遺伝子の違いにより、動脈硬化の進行や耐糖能に差が出てきます。

個人が各自の遺伝子リスクを知り生活習慣を改善して未病を心掛けることは重要であり、また医師としても個々の患者さんに適したオーダーメイドの治療を提供することができると考えます。

食事制限はなく、採血のみの検査です。生活習慣に関する12項目について調べ、それぞれを5段階

でリスク判定します。報告書にはリスク判定の結果を踏まえて奨励されるライフスタイルや

食事について分かりやすい図も入れてアドバイスがあります。料金は38,000円(税抜)です。お申し込み・お問い合わせは、富山市民病院健診センター(076) 422-0726(健診センター専用)までお願いいたします。

生活習慣病の予防にサインポスト遺伝子検査を利用していただければと思います。

遺伝的体質から生活習慣病のリスクを予測
サインポスト「生活習慣病予防プログラム」

＜サインポスト遺伝子検査とは？＞

- ◆保有遺伝子を解析し生活習慣の遺伝的リスクを判定する検査
- 70種類の遺伝子の保有状況を測定(日本人10,000症例以上のデータと比較)
- 12項目の生活習慣の遺伝的リスクを判定
- 保有遺伝子に基づくアドバイス付報告書

個々人の遺伝的リスクに基づく
ライフスタイル・生活習慣を提案

生活習慣病の予防・重症化予防。
「オーダーメイド医療」の実現へ

12月分

研修・講演・学習会のご案内

予告

地域連携症例検討会

日時：12月8日（火）19：00～20：15 場所：当院3階 講堂

1) 症例検討

①『白血球増加症、血小板増加症で紹介された81歳男性』

血液内科 寺崎 靖

②『成人女性に発症した大腿骨頸部不顕性骨折の1例』

整形外科 岩井信太郎

2) ミニレクチャー：「大腸癌の外科治療～ロボット支援下手術の現状と展望～」

外科 渡邊 利史

粘膜下層以深に浸潤した大腸がんに対しては、治療法の第一選択は外科的切除である。アプローチに関しては、従来からの開腹と共に腹腔鏡も広く普及しており、内視鏡外科学会の施設アンケートから推測すると、現在では大腸癌の手術件数は腹腔鏡アプローチが開腹アプローチを上回っていると考えられる。開腹下の手術では用手的に迅速な展開ができるが、骨盤腔のような身体深部では視野確保に難渋することが多い。一方、腹腔鏡下の手術では身体深部でも視認性が良好であり鉗子による繊細な手

技が期待できるが、鉗子の可動域制限や助手との連動性などが課題である。本邦では、2018年から新たに直腸癌に対してもロボット支援下手術が保険適応となった。ロボット支援下手術では、専用の鉗子に関節があるため腹腔鏡下手術の欠点であった動作制限が改善された。術野展開やスコープの位置調整も術者自身が行うため助手との連動に起因するタイムラグが改善されたと言える。本レクチャーではロボット支援下手術の経験をもとに現状や今後の展望について概説する。

※定例の研修会、看護研修、衛星研修S-QUE視聴研修

当面の間、開催を中止いたします。

衛星研修S-QUE研修の資料をご希望の方は、ふれあい地域医療センターへご連絡ください。

S-QUE Eナース

○配信期間 12月7日～1月4日 輸血・血液製剤の適切な取り扱いと管理

○配信期間 12月21日～1月18日 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）における

看護師の役割

新特別企画

○配信期間 12月1日～1月31日 第46回病院環境フォーラム パワハラ防止の職場風土づくり

令和2年度
10月新任医師紹介

整形外科 羽土 優

膝の人工関節や骨切り術を専門にしております。お気軽に症例のご相談をお願いいたします。



耳鼻いんこう科 吉川 智美

丁寧で分かりやすい診療を心掛けています。まだまだ勉強中の身ですがよろしく願います。



呼吸器内科 赤崎 恭太

呼吸器内科として咳嗽や肺炎などを中心に少しでも地域の力となれるよう尽力したいと思います。



内科 穴田 涼子

脳神経内科を専攻しています。若輩者ですが、安心して受診いただけるよう丁寧な診療を心がけます。



整形外科 河合 燦

富山県では初めての勤務となります。親切丁寧な診療を心がけて参ります。今後ともよろしく願います。



精神科 ^{たての}立野 ^{たかひろ}貴大

認知症や気分障害など一般的なものだけでなく広く見ていきたいと思っております。地域の皆様が安心できる医療を行っていけるようがんばります。



臨床研修医



臨床研修医 ^{たかさわ}高澤 ^{もえ}萌

富山大学附属病院からたすきがけで研修にきております。半年という短い間ですが、よろしくお願いいたします。



臨床研修医 ^{しばた}柴田 ^{まりこ}真梨子

富山大学附属病院からのたすきがけで来年3月まで研修させていただきます。よろしくお願いいたします。



臨床研修医 ^{ゆき}結城 ^{りゅうたつ}竜達

富山大学附属病院臨床研修医2年目の結城です。3年目は精神科に進む予定ですので、機会があればご指導よろしくお願いいたします。

医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

12月

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
内科	大田 聡	10日	精神科	長谷川 雄	11日
	野村 智	25日		西 田	9日、10日、15日
	水野	11日、16日、25日	眼科	山田 芳	7日、21日
	栗田	22日	耳鼻いんこう科・頭頸部外科	辻	2日、16日、21日
	川根	4日		杉本	1日
	穴田	18日	歯科口腔外科	寺島	14日、15日、16日、28日
麻酔科	松浦	11日		朝倉	11日、21日

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL 076-422-1112 (代) 内線2168

編集後記

肌寒い季節になり、我が家でもこたつを出し始めました。こたつで暖を取っていると気持ちよさ故についつい深いところまで体を入れようとしてしまいます。しかし、温かさを求めすぎてしまうと向こう側から足をはみ出し、逆に寒い思いをすることに毎年小さな苛立ちを覚えていました。ですが、今年はこんな感情を抱くのもこの季節ならではの風情なのではと思うようになりました。そんな自分に成長を感じた2020年秋ですが、こたつの話のようにかえて寒い思いをしないように何事も欲張りすぎず今年も最後まで公私共に頑張っていきたいと思えます。

これからの時期は、様々な感染症も流行り始めますので、皆さんも体調管理には気を付けてお過ごしください。

臨床検査科 川中 璃奈



作：病院ボランティア 篠崎 佳子

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154

メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp

